

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話(243)0141

22年5月9日

第12回ビジネススキルアップセミナー 消費税・インボイス制度学習会

ビジネススキルアップセミナーが22日、東区プラザで開催され15名が参加しました。シリーズ12回目の内容は消費税・インボイス制度学習会。青年部・中村浩部長(塗装)が「インボイス制度は理解するには難しい制度。この学習会で勉強し、分からない事は遠慮なく質問をしてほしい」と挨拶しました。

学習会は始めに全商連作成の湖東税理士による制度説明の動画(YOUTUBE)を視聴後、パンフレットや以前に支部開催で使われていた資料を基に補足説明を行ないました。

一通りの説明を終えた後は質疑応答。「インボイスを登録する事によって何か利点はあるのか」「自社は課税業者だけど登録申請しなければならぬのか」「消費税をもらっていないが、それでも申告・納税しなければならぬのか」「外注を多く使っているが、どう説明すればいいか。外注側からすると消費税分の値引きを受けるのと消費税の申告をするのでは、どちらの方がいいのか」等の質問が寄せられました。しかし、多くの参加者は何を聞いた方がいいのか分からない様子でした。全体もしくは支部で繰り返し学習会の開催が必要です。



第2弾 インボイスセミナー

日時 5月15日(日)
AM10:00~11:30

会場 新潟民商会館

上記の通りインボイスセミナー第2弾を企画しました。誰もが参加しやすいように日曜日の開催としました。参加希望の方はお近くの役員か民商事務所までご連絡ください。

日程

- ・インボイスセミナー 5月15日(日)
- ・統一行動週間 5月16日~22日
- ・全商連定期総会 5月22日(日)

中小業者が大切にされる県政の実現を 片桐なおみ知事を誕生させよう!



新潟民商・新商連も参加する「民主県政を実現する新潟県みんなの会」は、国言いなりの花角県政の転換を目指して、片桐なおみ候補を推薦することを決めました。

このことを受けて新潟民商三役会も4月19日、民主的な県政を実現するため片桐候補を推薦して選挙戦をたたかうことを決めました。

花角知事は前回の選挙戦で原発問題について「3つの検証の徹底などを公約に掲げて当選しました。しかし知事に就任した途端、検証総括委員会を1回しか開催せず。その後の開催を拒むなど、原発再稼働ありきの姿勢が明らかとなっています。

国言いなりは医療の分野にまで及び、13ある県立病院のうち4病院を市町村に移譲し、2病院を民営化する計画です。ただでさえ脆弱な新潟県の医療(全国45位)を改善するどころか悪化させようとしています。

また新型コロナウイルス対策でも後手に周り、中小業者分野も国の決めた範囲内の制度しか行われず、「補償が少なすぎる」と怒りの声が上がるのも当然です。

片桐候補は原発の再稼働には反対。医療も守り弱者に寄り添う政治を公約に掲げています。新潟民商も次の要望を掲げて選挙戦をたたかきましょう!

- 1、新型コロナウイルス対策の県独自の支援制度を創設する。他県で行われている事業復活支援金と併用できる支援制度を実現する。
- 2、県の小規模企業振興条例に基づき小規模企業対策施策を実現する。産業振興会議を創設し、小規模企業の意見に寄り添う政治を
- 3、新型コロナウイルス感染症禍での消費税減税を要望する。インボイス制度の中止を国に求める。

北区・新型コロナウイルス対策制度相談会 復活支援金「相談の場があったよかった」

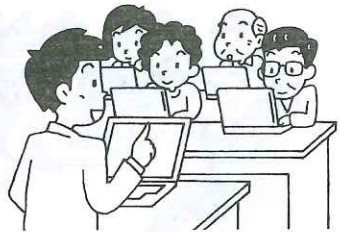
北区で新型コロナウイルス対策制度相談会が25日に開催され昼の部、夜の部を合わせ15名が参加しました。

参加した全員が「復活支援金」の申請。対象になるか算定し事前確認の準備をする方、初めて申請を開始する方、申請を再開する方など様々です。

スマートフォンに慣れない方はインターネットを開く事や再開時のログインで一苦労。扱いに慣れていても「基準月・対象月の売上台帳…」など何の事を問われているのか分からず作業が止まる方がほとんどでした。

申請を終えた方は「一人では絶対にできなかった。相談できる場があるから申請できた」と相談しながら自分のできた事に喜びを感じていました。中には「おかげで数字やカタカナを打てるようになった」という方も。

また、算定の仕方が分からないとの事で会外のAさん(運送業)が参加。算定の結果、対象とならず一時落胆した様子でしたが「総合支援資金」の事を聞くと「是非申請したい」と申請を決めました。その話を聞いた松浜支部の長さん(スナック)が「私もこの間、申請したばかり。緊急小口資金を受けて、市の給付金をもらっていないなら同じ窓口で用紙がもらえますよ」とAさんに制度の説明をしました。Aさんは表情を明るくし「もし分からないことがあったら相談に来てもいいですか?」と言い、その場を後にしました。



「事業復活支援金」「緊急小口・総合支援資金」 申請サポート相談会

支部	日時	会場
北区	5月6日(金) PM1:00	北地区公民館
中央B 西B	5月10日(火) PM1:00	新潟民商会館
北東B	5月13日(金) PM2:00	新商連会館

相談会の注意事項

- ※新型コロナウイルス感染症対策を万全にするために当日、体調の悪い方の参加は遠慮ください。
- ※民商会館や新商連会館は駐車場が少ないため、なるべく公共交通機関などをご利用ください。民商事務所前の道路は駐車禁止です。

中央ブロック 会外訪問

中央ブロックでは25日、野上会長・渡辺副会長・和合婦人部長と共に古町・本町を訪問行動。事業復活支援金のお知らせをしながら、コロナ禍の影響を聞きましただが、店を移転する際に廃業届・開業届を出した事で対象にならなかった」という方もいました。

人情横丁では、器屋さんが飲食店だけの時短協力金に不満爆発。幅広い業種への支援が必要だと話していました。マヌカハニー(健康食品)を販売している方は「コロナ禍で逆にいいのだが、輸入品を扱っているので品物が入ってこず物価も上昇」と嘆いていました。

本町では毎月最終日曜日にイベントを開催。古町ルフルも広場ができましたが、日々の集客にはつながっていない様子。上古町は街の活性化に向け、活動していました。地域のお店商品券も活用しやすいようです。

中央ブロックでは今後も訪問活動を続けていこうと話合っています。

東山ノ下支部 婦人部拡大訪問

東山ノ下支部では19日、婦人部の金谷さんが中心となり訪問行動。まだ婦人部に入っていない人を中心に訪問し、2名が婦人部に入部しました。

それぞれ飲食店の会員さんと会員である旦那の手伝いがあるとのことで、婦人部の集まりにはなかなか参加できないけれど…と前置きの上で婦人部に入部することとなりました。

また2人も民商で事業復活支援金の相談に来られていたこともあり話題も事欠きません。金谷さんからは婦人部で取り組んでいる、民法・戸籍法改正を求める請願と女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求めるとも快く署名し、「婦人部に入部することで少しでも協力できるなら」と話していました。

